

# 中学生の医療費を無料に ～子どもの医療費助成を拡大～

新たに中学生の通院費を助成対象に加え、  
乳幼児から中学3年生までの医療費を  
無料にします

平成28年1月18日

# 子どもの医療費助成の経緯

平成22年4月～平成24年6月

○:三重県補助事業 ◎:津市単独事業

名称 \ 対象	乳幼児		小学生		中学生	
	通院	入院	通院	入院	通院	入院
乳幼児医療費	○	○	—	—	—	—
子ども医療費	—	—	—	◎ <sup>(※1)</sup>	—	◎ <sup>(※1)</sup>

※1 子ども医療費助成の開始

平成24年7月から「子ども医療費」に統合し、小学生の通院費の助成を拡大

平成24年7月～現在

名称 \ 対象	乳幼児		小学生		中学生	
	通院	入院	通院	入院	通院	入院
子ども医療費	○	○	○ <sup>(※2)</sup>	○ <sup>(※2)</sup>	—	◎

※2 平成24年7月～8月は、津市単独事業

# 子ども医療費助成に対する要望

## 保護者の声、関係機関・団体からの要望

子どもは怪我や  
病気が非常に多い

医療費の負担を  
減らしてほしい

子育てに優しいまち  
づくり施策の推進を

子ども医療費に対する声や要望が多く寄せられている

健やかな成長のサポート

経済的負担の軽減

子育て支援

新たに中学生の通院費助成(無料)の方針を決定！

平成28年度当初予算案に係る事業費を計上

# 助成範囲・対象者数

拡大範囲

中学1年～3年生の通院費

助成範囲

保険診療分の自己負担相当額

実施時期

平成28年9月(予定)

対象者数

約6,500人

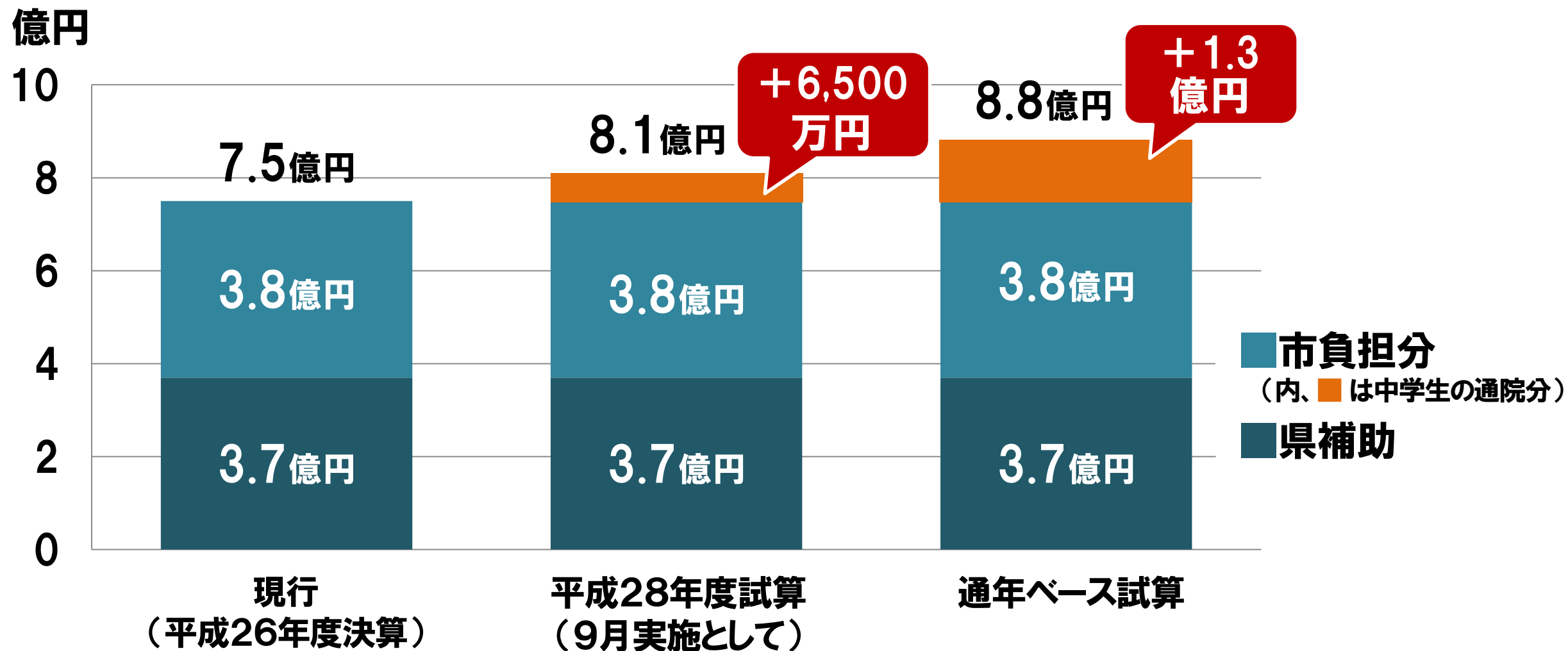
該当者約7,700人(H27.4.1現在)の内、所得制限超過者等を除く

所得制限の限度額

既存の子ども医療費と同じ基準

所得額 622万円(収入換算 約824万円) + (税法上の扶養親族の数 × 38万円)

# 子ども医療費に係る事業費



平成28年度当初予算案に事業費約6,500万円の増額を計上

通年ベースでは、約1億3,000万円の増

# 医療費助成拡大に向けた今後の事務フロー

6月

市から保護者宛てに「福祉医療費受給資格証交付申請書」を郵送

6月～7月

「福祉医療費受給資格証交付申請書」を同封の返信用封筒で市に郵送(返送)

所得判定の実施

8月下旬

受給対象者に「福祉医療費受給資格証」を交付

9月(予定)

中学生の通院費の助成を開始 **中学3年生まで医療費無料!**





# 獣害から農地を守るプロジェクト始動

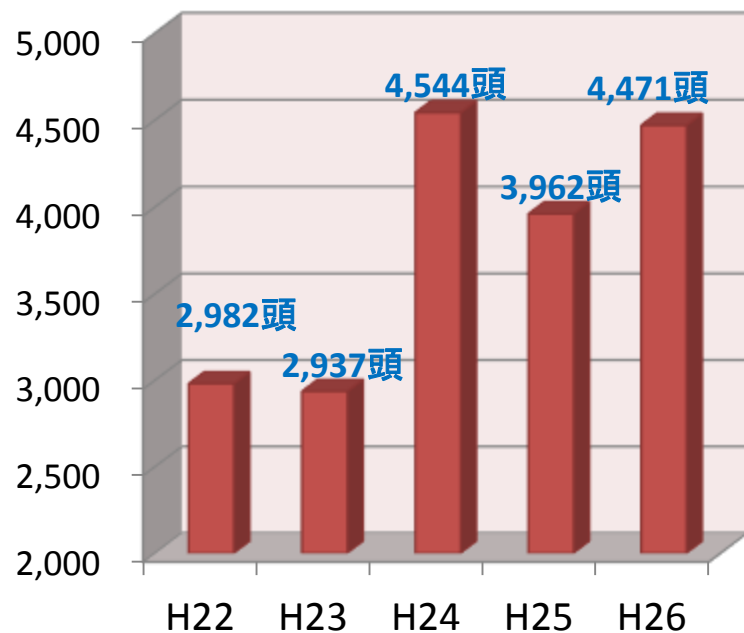


平成28年1月18日



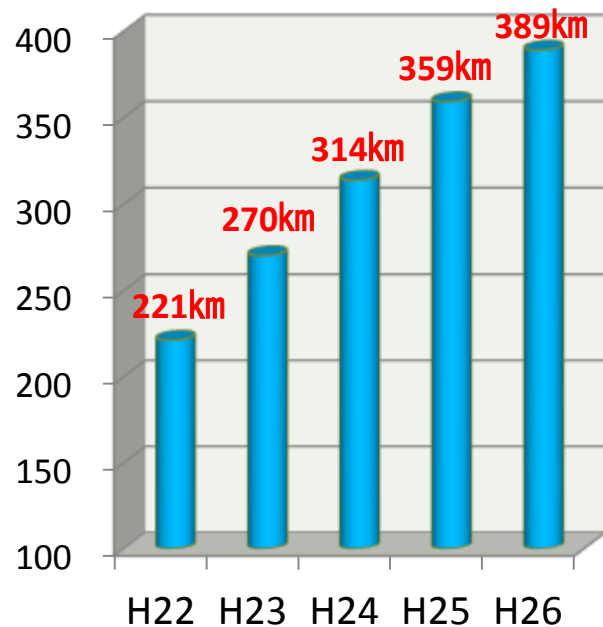
# 獣害対策及び被害状況

## サル・シカ・イノシシの捕獲状況



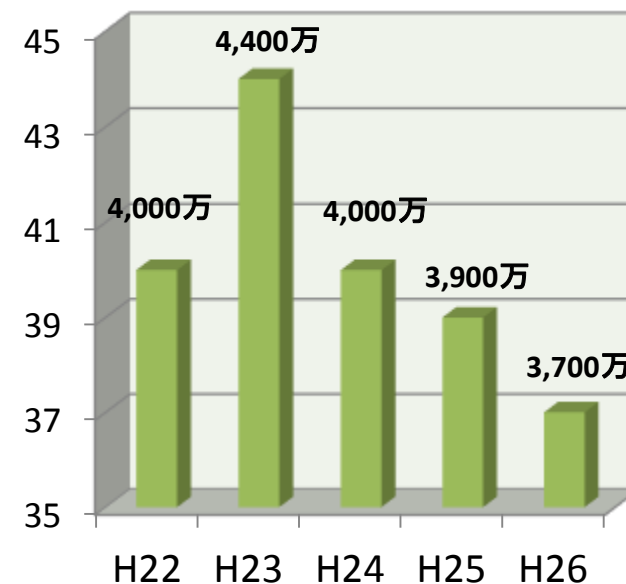
捕獲実績は**県内1位**

## 防護柵の設置延長



直線距離で**東京大阪間**

## 被害額の推移



被害額は減少しているが、未だ4,000万円程度の被害あり

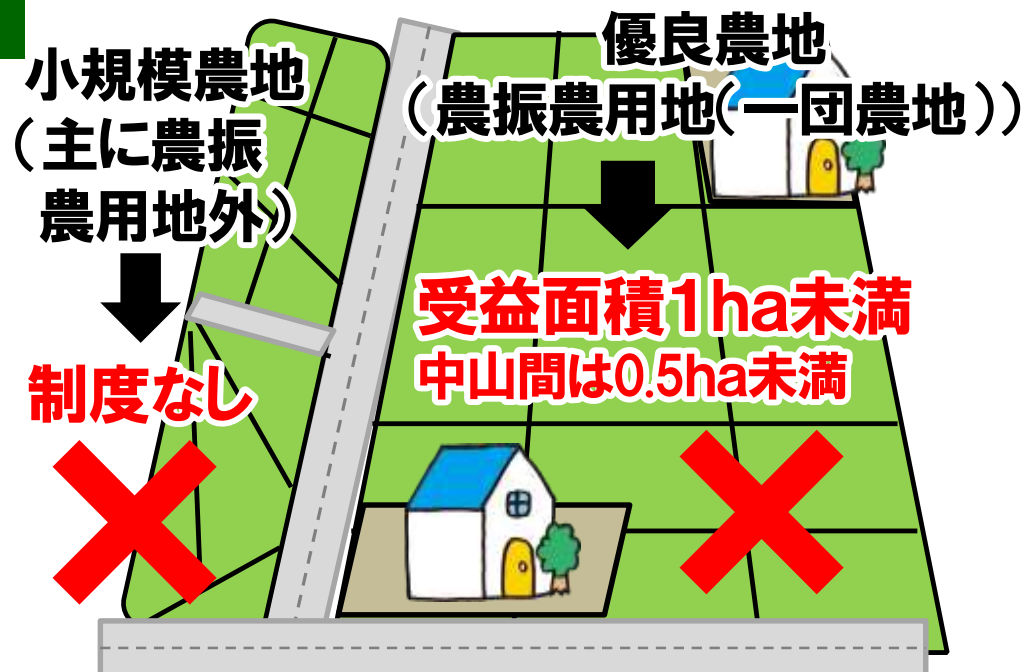
農家の方からは、もっときめ細かな対応を望む声がある



# 獣害対策の主な課題(地域からの声)

## 防護柵補助制度 市単独事業

### 現状



### 課題 (農家の皆さんからの要望)

農業振興区域内農用地以外の  
農地・小規模農地を補助対象に！

小規模農地であれば受益農家は  
1戸でも補助対象に！

## 相談体制

### 現状

#### 市街地等での獣の追い払い

市農林水産政策課員9名が「津市鳥獣  
被害防止対策実施隊」として活動

#### 被害防止対策(獣害対策事務・相談業務)

本庁に担当2名(兼務)、各総合支所に  
1名(兼務)を配置

### 課題 (農家の皆さんからの要望)

被害状況の確認や被害防止方法  
(防護柵・檻の設置等)のアドバイスを！

地域獣害対策協議会などと連携した  
取り組みを！

# 戦略①「全ての農地を獣害から守る」

平成28年4月から新たな「防護柵補助制度」をスタート

## ①農産物獣害対策事業

優良農地

受益農家2戸以上  
ある一団の農地

補助要件を緩和！

現行の補助要件である1ha以上の受益面積を0.5ha以上に緩和(中山間は0.3ha以上)

津市の農業経営体の耕地面積で最も多い0.5ha~1haをカバー

0.5ha以上の農業振興区域内農用地に対応

資機材の1/2補助 上限100万円  
平成28年度予算見込額1,700万円程度

## ②小規模農地被害防止事業

小規模農地

農振農用地内外を  
問わず全ての農地

新たな制度を創設！

原則、受益農家の戸数設定、面積設定、農用地設定を設けず、防護柵の設置を支援

小規模農地を全てカバー

主に0.5ha未満の農地に対応

資機材の1/2補助 上限8万円  
平成28年度予算見込額600万円程度

全ての農地を対象に補助

補助はどちらかを選択

# 戦略②「地域に寄り添った獣害対策の推進」

業務内容を明確にし、それに対応した体制を整備  
平成28年4月から「津市獣害対策相談チーム」を設置

## 業務内容

- |   |              |                                      |
|---|--------------|--------------------------------------|
| 1 | 見回り・相談・被害調査  | 地域に出向き、耕作者、協議会等と共に獣害対策の確認・相談・被害調査を実施 |
| 2 | 市街地等での獣出没時対応 | 追払い、見回りの実施                           |
| 3 | 被害防止対策       | 貸出檻の設置、管理                            |
|   |              | 柵設置・檻貸出、協議会活動、捕獲等への支援                |

## 体制

2つの総合支所に各2名（計4名）を配置予定（再任用職員を想定）

狩猟免許を有する臨時職員1名を雇用

農林水産政策課担当者全員、各総合支所獣害担当者1名（計9名）で対応

再任用職員4名、臨時職員1名、総合支所担当者9名、農林水産政策課職員全員を **津市獣害対策相談チーム** として指名



**JR名松線全線復旧記念**

**一番列車ヘッドマークデザイン募集&  
記念式典開催**



**平成28年1月18日**



# 一番列車ヘッドマークデザインの募集

平成28年3月26日のJR名松線の全線復旧を記念し、  
一番列車へのヘッドマーク装着をJR東海へ依頼し、了解を得る

一番列車のヘッドマークデザインを募集！

募集期間

平成28年1月19日(火)から  
2月 8日(月)まで

応募資格

誰でも応募可能

応募作品数

1人1作品

募集条件

- 「祝」「全線復旧」「名松線」の文字を入れること
- 応募作品は「未発表」かつ「自作」であること
- 手書き、デジタルは問いません



# 一番列車ヘッドマークデザインの審査・決定

## 審査方法

地元代表者、学校関係者などで構成する選考会による審査を経て、デザインを決定

## 発表方法

2月下旬に津市ホームページで発表

伊勢奥津駅9:35発の  
一番列車に装着！

当日はヘッドマークを装着し終日運行

デザイン採用者には **実物大ヘッドマークレプリカ** をプレゼント！



# 応募・問い合わせ先

津市ホームページからダウンロード、または市本庁交通政策課、各総合支所地域振興課に備え付けの応募用紙に①住所②氏名③年齢④電話番号⑤職業⑥デザインに関するコメント(100字程度)を記入の上、ヘッドマークデザインを添えて、郵送またはメールで応募してください



## 応募・問い合わせ先

〒515-3201

津市美杉町竹原2777番地

津市都市計画部名松線復旧推進室

電話 059-264-0140

ファクス 059-264-0141

E-Mail 272-8081@city.tsu.lg.jp

# JR名松線 記念式典・記念イベントの開催

**開催日**

**平成28年3月26日(土曜日)**

**出発式**

**JR東海主催で開催予定**

**記念式典**

**津市主催**

**時間 9時45分～10時45分**

**場所 八幡地域住民センター（伊勢奥津駅隣）**

**記念イベント**

**地元主催  
津市協賛**

**JR名松線開通80周年記念イベント&復旧祭**

**時間 9時00分～15時00分**

**場所 伊勢奥津駅周辺**



# JR名松線全線復旧記念式典

## 記念式典 津市主催

**時間** 9時45分～10時45分

**場所** 八幡地域住民センター（伊勢奥津駅隣）

**内容** 市長式辞、来賓祝辞、地権者への感謝状贈呈、  
復旧までの経過報告



# JR名松線全線復旧記念イベント

## JR名松線開通80周年記念イベント&復旧祭

地元主催・津市協賛

**時間** 9時00分～15時00分

**場所** 伊勢奥津駅周辺

**参加団体** 22団体(予定)

**内容** ●食のふるまい

●特産品の販売

●神楽舞踊、和太鼓、よさこいなどの演芸披露

●ボンネットバスの体験乗車 など

